



はつむい

●医療法人創和会広報誌はあもにい / 発行 医療法人創和会 理事長 重井文博

令和5年10月1日発行

太陽光発電設備を新設します ～2024年春、研究所附属病院～

創和会本部 経営管理部長 横山 誠二

■初期投資ゼロで太陽光パネルを設置

研究所附属病院は2006年に総工費7,200万円（半額は補助金あり）の太陽光発電設備を設置し、年平均85,000kwhを発電。これは、森林面積に換算すると京セラドーム5.6個分の環境貢献となっています。この度、病院敷地の外れにある空き地を、中国銀行のグループ企業である「株式会社ちゅうぎんエナジー」に無償で貸し出し、ちゅうぎんエナジーが太陽光発電設備を設置（病院の初期投資はゼロ）、その電力を病院が買取る契約を締結することとなりました。設備の規模は現在設置している太陽光発電設備の3倍を計画しており、2つの太陽光発電を合わせた発電規模は、

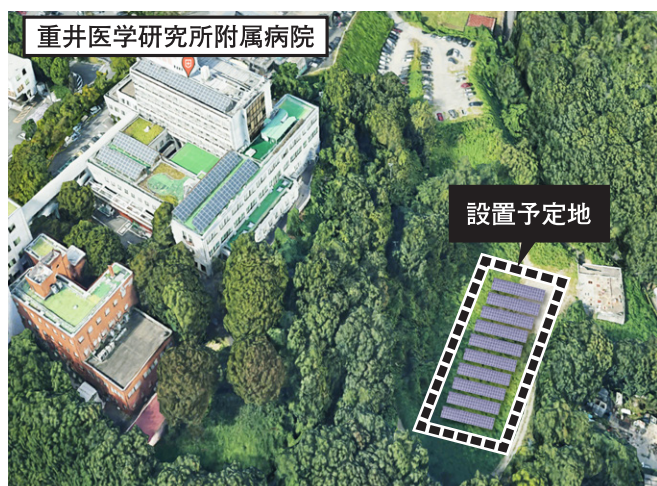
ちゅうぎんエナジーと創和会が調べた限りでは、医療機関が敷地内に設置する発電設備としては全国No.1！研究所附属病院が使用する電力の15%分を自家発電することとなります。

■創和会のSDGs

SDGs（エスディージーズ）は、2015年9月25日に国連総会で採択された、持続可能な開発のための17の国際目標です。創和会の活動をSDGsの視点から外部機関に評価してもらったところ、医療・介護事業が「SDGs目標3.すべての人に健康と福祉を」にあたる事は勿論、植物園・昆虫館を通じた自然保護、研究所等の職場体験や科学教室による社会貢献、もったいないPJに代表される温暖化問題、EAP等を通じた人権問題など多くの点で高い評価をいただきました。

■SDGs宣言

SDGsの評価結果を踏まえ、これから創和会が取り組んでいく事項をまとめた宣言書を作成しました。宣言には、しげい腎クリニック早島への太陽光発電設備の設置、2026年に2.7%まで引き上げられる障害者雇用率を、現在の2.3%から2.8%まで引き上げるなど、これからの取り組み事項を記載しております。創和会のHPに掲載しておりますので、是非ご覧ください。





知ってる？創和会グループ 幸町記念病院ってどんな病院？ ～草分事務長＆岡田師長にインタビュー～

Q. 幸町記念病院の魅力は？

草分：岡山駅から一駅で駐車場も完備しているので立地がいいです。実は、電車は本数が少なく、使っている方はほとんどいません。バスは本数も多いのですが、利用する人は少ないです。職員は近くから自転車で通う人も多いです。

Q. 透析専門病院であるところが特徴ですね。

草分：透析専門病院として、透析患者さんファーストで運営してきました。職員全員が患者さんの顔と名前を覚える方針でやっていますので、診察券ありません。すべての職種が透析室に出入りし、一人の患者さんを職員全員でみる文化がありますね。

岡田：透析患者さんに提供している食事がおいしいのが自慢です。長く当院に通っていた患者さんが他院に入院して、帰ってきたら「やっぱりここの食事が美味しい」って結構言ってくれます。食事が合わなくて、無理して転院して戻って来ることもありました。ちなみに、私たち職員の昼食は患者さんと同じものをいただいています。

Q. 透析患者さんの連携は？

草分：維持透析患者さんのご紹介を、市内の幅広い医療機関からいただいています。患者さんは、この周辺にお住まいの方が多いですね。当院で状態が悪くなった場合は、近くに基幹病院が複数あり、連携していただいています。

Q. 岡田師長は7月に就任されたばかりですね。

岡田：まだ、日々のことで精いっぱいです。透析専門病院なので、透析専門の資格を持った看護師を増やしていきたいですね。また、エコー下穿刺を進めていき、穿刺技術を高めることで患者さんに苦痛を与えずに透析を提供したいです。

Q. 職員の皆さんの福利厚生は？

草分：創和会と合併したらなくなるかもしれませんが、当院では入社3年目にディズニーの接遇を学ぶために東京ディズニーリゾートに研修旅行に行きます。これはディズニーに興味のない人も絶対に行ってもらっています。

岡田：それに夏休みが5日あって、分割なしにしています。7月から9月の間で取るのですが、公平に取れるように「あみだくじ」で1番、2番のように選べる順番を決めています。

Q. 今後の抱負をお聞かせください。

草分：これまで、他院との関わりが少なく医療職として他の医療機関と連携する機会が少なかったですが、創和会グループになって、人事交流や研修ができるようになりました。当院では正しいと思って進めてきたことも、正しいとは限りません。いろいろ知見を広げて良い所を吸収していきたいです。皆さん、よろしくお願いいたします。



新しく師長に就任された
岡田師長（左）と草分事務長（右）

幸町記念病院を含めて

3施設間での人事交流、8月から始まりました!!

■臨床工学技士 大島 杏介（研究所附属病院から幸町記念病院へ人事交流中）



Q. 人事交流の経験は？

幸町記念病院が初めての人事交流です。緊張していますが、知見を広げられるよう頑張りたいです。

Q. 通勤方法は？

交代制のため勤務状況に応じて電車か車で通勤しています。

Q. 幸町記念病院の第一印象はどうでしたか？

スタッフと患者さんとの距離が近いと感じました。患者さんから「初めての方ですね？」と声をかけていただき、とても驚きました。スタッフに聞くと、患者さんは透析室スタッフの名前を結構覚えられているそうです。

Q. 実際に業務が始まり、臨床工学技士との交流はいかがですか？

ありがたいことに、大学時代の先輩と後輩がい

たのでとけ込みやすい環境でした。交流していく中でスタッフのことがだんだん分かってきているところです。

Q. 人事交流で頑張りたいことは？

シャントPTAの業務方法や運用、シャントエコーの技術を学んで持ち帰りたいと思っています。
（インタビューアー 矢吹）



■臨床工学技士 柴田 遼（幸町記念病院からしげい病院へ人事交流中）



Q. ご出身は？

生まれも育ちも岡山県で、大学も地元です。

Q. 通勤方法と時間、家族構成は？

幸町記念病院まで徒歩5分ぐらいのところに、妻と長男との3人暮らしです。しげい病院へは電車で40分ぐ

らいです、夜勤時は車通勤です。

Q. 休日の過ごし方は？

長男と公園に行くのが楽しみです。長男が恐竜大好きなので恐竜に詳しくなりました。

Q. 幸町記念病院へ就職をしたきっかけは？

福利厚生で魅力を感じ、結婚を機に転職しました。透析専門病院として職員一丸となっていると

ころが自慢できるところです。

Q. 人事交流で頑張りたいことは？

しげい病院では、各種データ管理などを丁寧にされており、そのノウハウを持ち帰りたいです。
（インタビューアー 佐伯）



ノルコグプログラムを始めました

しげい病院 通所・訪問リハビリテーション部 副室長 平野 圭二

■「ノルコグ」とは

しげい病院 通所リハビリテーションは、7月より新しいプログラム「ノルコグ」を始めました。

コグニサイズとは、国立長寿医療研究センターが開発した運動と認知課題（計算、しりとりなど）を組み合わせた、認知症予防を目的とした取り組みの総称を表した造語で、英語の cognition（認知）と exercise（運動）を組み合わせて cognicise（コグニサイズ）と言います。「ノルコグ」とは、ノルディックポールエクササイズとコグニサイズを掛け合わせた言葉で、2本のノルディックポールを使ったエクササイズとコグニサイズの頭を使う認知課題を同時に行うことで、身体機能低下の予防や認知症の予防を行うことができる、しげい病院通所リハビリテーション独自の集団プログラムとなっています。集団体操なので、誰でも楽しく安全に行うことができ、仲間との交流が増えます。

ノルコグプログラムを実施されている利用者さんは、初めのうちは「手を一生懸命動かすと足が留守になる」や「間違えたら恥ずかしいから」などの理由で、周りの利用者さんや席の位置を気にしていましたが、慣れてくると徐々に自分の動きに集中され、「楽しかった」「もっと理解したい」などの感想をいただきました。

■学会発表しました

6月に第12回ノルディック・ポール・ウォーク学会学術大会にしげい病院 通所リハビリテーションから2名が参加し、ノルコグプログラムについて学会発表してきました。ポスター発表ブースでは20名が参加され、たくさん意見交換ができました。

しげい病院 通所リハビリテーションは、利用者さんの小さな改善・回復を大切にし、その人らしい生活が送れるよう支援し、地域に必要とされる、運動とリハビリテーションができる特徴ある通所リハビリテーション施設を目指しています。今後ともよろしくお願いいたします。



▲しげい病院 通所リハビリテーション独自の集団プログラム



▲第12回ノルディック・ポール・ウォーク学会学術大会に参加



▲ポスター発表の様子



▲通所リハビリテーション
ホームページ



▲リハビリ部
Instagram

今年も素敵なグリーンカーテンになりました

しげい病院 総務課 係長 吉田 和明

ゴールデンウィーク明けから設置作業を開始し、昨年と同様に 13 か所設置いたしました。

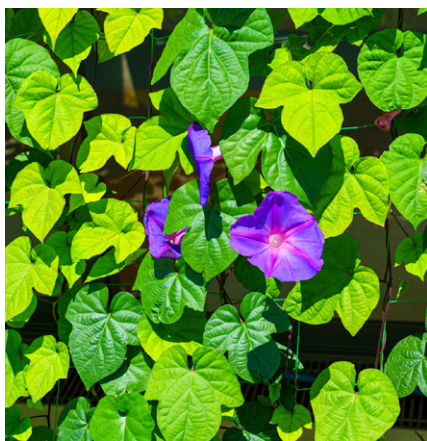
今年は、カーテン用のネットがコロナウイルスの影響なのか購入が困難でしたが、工務係の二人（長谷川さん・安藤さん）が、予め準備をしてくれていたため設置作業は予定通りすすめられました。

二人がきっちりと予定を立て、苗植えが終わった後も毎日、弦の巻き付け・摘心・肥料散布と続

けて管理を行ってくれたので、設置から約 3 か月経過した頃には、とても素敵なグリーンカーテンになりました。

毎年設置しているグリーンカーテンで、建物の温度上昇抑制が抑えられ、エアコンの抑制に効果があればと思います。

省エネと CO₂ 削減で地球温暖化防止に貢献できるように、今後も適切な管理を行っていきたいと思います。



利用者宅へ訪問時の 自転車ヘルメット着用を開始しました

倉敷しげい居宅介護支援事業所 副主任 平尾 容子

4月1日から道路交通法の改正により、自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化されました。自転車に乗る際は、年齢に関係なく、乗車用ヘルメットを着用するよう努めなければなりません。

ケアマネジャーは、利用者宅に自転車で訪問することもあり、ヘルメットの着用を検討していました。現在販売されている自転車のヘルメットは、普段使いからサイクリング等、用途に応じて様々なタイプを選ぶことができ、種類が豊富です。ヘルメットサイズ・男性用・女性用と検討しながら、1個ずつ購入して、現在3個購入しました。

普段の生活ではなかなかヘルメットをかぶる機会がなく、少し抵抗はありますが、早く慣れてい

きたいと思います。

今後も、自転車に乗る時は常に安全運転に努めていきたいと思っています。



「なぜ病院に昆虫館があるの？ 倉敷昆虫館」 が発行されました

創和会本部 人事部 係長 芳本 徹

この度、書肆亥工房（ショシガイコウボウ）出版より、『なぜ病院に昆虫館があるの？ 倉敷昆虫館』が発行されました。

昨年、倉敷写真文庫というモノクロ写真で倉敷を語るシリーズが創刊され、倉敷昆虫館について出版をしたいとの話をいただきました。ちなみに、シリーズ第1号は、『児島八十八カ所霊場 遍路石百選』で、倉敷昆虫館は第2号となりました。

この出版社について紹介をしますと、「編集歴50年の経験と実績」のある、岡山の出版社です。姉妹出版社「くらしき絵本館」と、フランスの9番目の芸術といわれている絵本バンドデシネ（BD）を共同出版しています…（書肆亥工房出版ホームページより引用）。

最初の打合わせは今年の2月16日に始まり、その後は、倉敷昆虫館職員による原稿入稿→制作→校正の流れで、進みました。また、「はじめに」の箇所は、重井理事長が担当し、8月10日に納品の運びとなりました。その間、自分も何回か打

ち合わせに参加しました。

今回の発行部数は500部で、国会図書館、日本全国の昆虫館、岡山県の小学校（倉敷市・総社市・早島町）・中学校・高校・大学図書室等に寄贈200部を予定しています。

倉敷昆虫館は、昨年、開館60周年を迎え、過去から現在までを振り返るのにふさわしい本ができました。

この本は、しげい病院・研究所附属病院売店で1冊990円（税込）販売しています。また、書肆亥工房出版のホームページから購入も可能です。昆虫に興味がある方は、是非、手に取ってご覧ください。



▲好評発売中

しげい病院のツメレンゲとクロツバメシジミ

倉敷昆虫館 岡野 貴司



▲写真1 2022年10月撮影

しげい病院南館の屋上庭園の一角に、倉敷美観地区から移植されたツメレンゲ(写真1)があります。また、同病院1Fの倉敷昆虫館には鶴形山で採集されたクロツバメシジミの標本(写真2)が保管されています。そして、この2つのは密接に結びついているのです。



表面



裏面

▲写真2

ツメレンゲはベンケイソウ科の多肉植物で、元来は水分の乏しい岩壁などが生育地です。先の尖った葉が動物のツメに、そして放射状の株が仏像を設置する蓮の花の台(蓮華座)に似ていることからこの名がつけられました。やがてツメレンゲは、人間の生活圏の中で自然の岩場とよく似た環境にも進出してきました。それは瓦屋根、

民家や堤防の石垣などで、適地が限定される天然の成育地よりこちらの方が主力になっていきました。鶴形山を含む美観地区は昔ながらの倉庫や商家が残り、また多くの寺社があることからツメレンゲに適した環境が集中していました。しかし観光客の増加に伴って整備が進められ、その結果こ

の好環境が一変してしまいました。屋上庭園のツメレンゲも美観地区の旧家の瓦屋根の改修工事によって消滅する運命でしたが、2011年に倉敷市立自然史博物館友の会と重井薬用植物園によって救出され、しげい病院の屋上庭園に移植されました。

このツメレンゲを幼虫のエサとしているのが、クロツバメシジミという小さなチョウです。岡山県では中国山地を除く広い地域で見られましたが、現在は減少傾向に歯止めがきかず、2020年岡山県RDBでは絶滅危惧Ⅱ類に指定されています。ツメレンゲに強く依存していることから生息基盤が大変脆弱であり、美観地区では1980年代半ばから記録が途絶えてしまっています。標本自体もあまり残されていません。この標本は1949年という大変古い時代に採集された貴重なものです。写真3は倉敷昆虫同好会の三宅誠治さんが2015年に美星町で撮影しましたが、これも集落の石垣で発生しているものです。



▲写真3 2015年10月撮影

屋上庭園にツメレンゲを移植したもう一つの目的はこのチョウの復活ですが、大変厳しい状況にあります。美観地区近隣のクロツバメシジミが次々と消滅し、現在の近くの生息地を強いてあげれば岡山市や和気町、あるいは高梁市になりますが、どれもかなりの距離があり、このチョウがしげい病院まで飛来できるかどうかは疑問です。仮に人の手でこのチョウを屋上に放ったとしても他の生息地との往来がなければ孤立し、やがて遺伝的多様性が失われてしまいます。

近隣の生息地とのネットワーク(往来)が成立することを願っています。

催し物案内

重井薬用植物園

植物園を楽しむ会

「木の実降る里山を楽しむ」

日時：10月28日（土）
10：00～12：00

会場：重井薬用植物園

編集後記

●5年に1度の試験。介護支援専門員の資格更新の研修、真最中。研修の疲れが取れず、年齢による回復力の低下を感じます。厚労省が厳しくするあまり、受験者数は激減。働き手は若い世代がいなく、全国4人に1人が60歳以上、平均年齢は51歳。5年連続で事業所数も減少。制度が始まって支えてきた人たちが引退すると、より一層人材不足。この資格も子育て世帯に優しい仕組みになって、魅力ある職種になって欲しいと願いながら…。超高齢社会に期待されている資格ということでポジティブに気持ちを切り替えて、乗り切るしかない。そして、突破する頃には、待ちに待ったウィンタースポーツの到来です。ワクワク感だけは年齢は関係なさそうです。雪舞い散る季節が待ち遠しい今日この頃。（WR）

●今年は、子供が小学生になって初めての夏休みを迎えました。今までは保育園だったので、長い休みといってもお盆休みぐらいでした。学童保育に入っていないので1ヶ月を超える夏休み期間をどのように過ごすか家族会議をしたりすることも。自分の夏季休暇を子供に合わせて取得することができ、子供との時間をたくさん過ごすことができました。この夏は海やプールに行くことが多く、夏季休暇の後には職場の方や取引先の方から「黒くなりましたね」と言われることも。話のネタにはなりますがこれ以上日焼けしないよう過ごしていきたいです。（OK）

EAP相談室コラム

「ヒューリスティクスとは」

ジャパン EAP システムズ EAP 相談室

“家を出る時は晴れていたのに、傘を持たずに外出したら雨に降られた！” 天気予報を確認すれば良かったけど、急いでいたし、仕方ないと考えますよね。

さほど重要ではないことを決める時やじっくり考える時間がない場合、我々は自分の経験や先入観で判断しています。このような直感的な判断をヒューリスティクス（heuristics、発見的手法）と呼びます。

直感的、習慣的な判断はまあまあ当たるので、我々は日常生活でヒューリスティックな判断を多用しています。

1. 代表性ヒューリスティクス

たとえば欧米人風の人が近づいてきて、道を尋ねられそうになったとします。「英語、苦手！」と視線を外したけれど、日本語で話しかけられホッとした。「欧米人＝英語」と直感的に判断したわけですね。「欧米人は英語を話す」というようにステレオタイプな判断を代表性ヒューリスティクスと呼びます。

英語を話すという判断の方が当たる確率は高いでしょうが、間違えることもあります。直感というより早合点、早とちり、短絡的という日本語の方が合っているかもしれません。

2. 利用可能性ヒューリスティクス

これは手に入りやすい、思い出しやすい情報に頼って判断する方法です。たとえばハンバーガーのセットで注文する時、ポテトを選んでいませんか？ポテトが好きで選ぶ方がいいのですが、よく考えないで、あるいは別のメニューを選ぶのが面倒だから、「とりあえずポテト」にしていますか。

冒頭の天気の話も、空を見上げるという手に入りやすい方法で判断した利用可能性ヒューリスティクスです。

日常生活を送る上では、ヒューリスティックな判断で大抵は問題が起きませんし、脳の活動を節約できて有益なのですが、データをしっかりと吟味しなければならぬ問題をヒューリスティックに判断してしまうと、不利益な結果になってしまうかもしれません。

例えば、新型コロナウイルスの情報など重要な事柄を判断する時は、キャッチーな言葉や SNS でちょっと見かけた情報、限られた人からの情報などを鵜呑みにせず、情報収集に少し手間と時間をかけましょう。

大事なことこそ、「自分の判断は間違っているかもしれない」という思いを頭のどこかに置いておき、「違う可能性はないか？」とチェックする習慣を持ち、怪しい情報にだまされないようにしましょう。



※医療法人創和会は職員の心の相談窓口として、ジャパン EAP システムズと契約しています。相談はお気軽に、電話やメールで。



生きることの尊さと健康であることの幸せを、すべての人と共に

しげい病院

〒710-0051 倉敷市幸町2-30
TEL086(422)3655 FAX086(421)1991

岡山しげい訪問看護ステーション

岡山しげい居宅介護支援事業所
〒710-0202 岡山市南区山田2117
TEL086(282)4300 FAX086(282)4301

重井医学研究所附属病院

〒707-0202 岡山市南区山田2117
TEL086(282)5311 FAX086(282)5345

倉敷しげい訪問看護ステーション

倉敷しげい居宅介護支援事業所
〒710-0051 倉敷市幸町2-30
TEL086(422)8111 FAX086(421)1991

重井薬用植物園

〒710-0007 倉敷市浅原20
TEL086(423)2396

重井医学研究所

〒707-0202 岡山市南区山田2117
TEL086(282)3113 FAX086(282)3115

倉敷昆虫館

〒710-0051 倉敷市幸町2-30
TEL086(422)8207